

第1回 e-learning コンテンツ作成 WG 議事録（確定）

日 時 : 令和5年6月21日（水） 10:00～11:30
形 式 : ハイブリット会議（現地+Zoom）
場 所 : 日本薬学会長井記念館 薬学教育協議会事務局（ホスト会場）
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. 委員紹介について（資料1）

本間代表理事より e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ開催に向けて挨拶が行われた。また、暫くの間、議事を進行することの発言があった。

続いて、資料1に基づき、参加者全員による自己紹介が行われた。

2. 委員長の選出について

委員長の選出について、令和4年度改訂版モデル・コア・カリキュラム（以下、「改訂版コアカリ」という。）で設けられた薬剤師として求められる基本的な資質・能力の「情報・科学技術を活かす能力」部分を踏まえ意見交換が行われた結果、ICT 関連の委員会経験も豊富である、兵庫医科大学の木下 淳先生の推薦があり、満場一致で了承された。

3. 文部科学省委託事業「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究」の業務計画について（資料2）

本間代表理事より、資料2に基づき「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究」の事業計画から、改訂版コアカリは、薬剤師として求められる10の基本的な資質・能力では、特に総合的に患者・生活者をみる姿勢と情報・科学技術を活かす能力の二つが新たに設定され、総合的に患者・生活者をみる姿勢は「B 社会と薬学」の内容に拡げても良いと考えているが、特にこの委託事業では改訂版コアカリを踏まえた調査研究であり、「情報・科学技術を活かす能力」として、指導教員のFDや教育コンテンツの充実を目的として、1年間であるが、研究開発を進めていくとの説明があった。

4. 委託事業の背景・課題、他領域の検討体制について（資料3）

医学教育課より、委託事業の背景・課題、他領域の検討体制については、資料3に基づき、本事業は大学における医療人養成の在り方に関する調査研究であり、医学、歯学、薬学におけるモデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究がこの委託事業の内容であるとの説明があった。

なお、改訂版コアカリでは、10個ある薬剤師として求められる基本的な資質・能力のうち、

2. 総合的に患者・生活者をみる姿勢と6. 情報・科学技術を活かす能力の二つが新たに加わっ

たもので、特に情報・科学技術を活かす能力については、改訂版コアカリの引用だが、26 ページに、社会における高度先端技術に関心を持ち、薬剤師としての専門性を活かし、情報・科学技術に関する倫理・法律・制度・規範を遵守して疫学、人口知能やビッグデータ等に係る技術を積極的に利活用すると説明が加えられている。薬学或いは医療の専門家であるからと新しい情報技術については、分からなくてもよいということではなく、取り残されてしまうので、積極的に活かすことで医療の発展に資する教育をされていくことが大切である。その他、新しい学修目標も多数設定されていること、B 社会と薬学の改訂作業の方針についての紹介もなされた。

なお、参考であるが、医学と歯学の事業体制及び開発の状況についての紹介もなされた。

また、薬学では 8 月に全国薬科大学長薬学部長を対象とした薬学教育指導者のためのワークショップを文部科学省主催で開催する予定である。事前にアンケート調査も実施し、コアカリに基づいたカリキュラム構築の課題と対応で意見を伺っている。ワークショップにおける議論とアンケート調査はフィードバックするので、ご参考いただきたいことであった。

終わりに、今回の e-learning コンテンツ作成 WG では特に**情報・科学技術を活かす能力**という部分についてご検討いただきたいとのことであった。

5. 「医学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究」について（資料 4）

①医学教育学会の現状報告について

資料 4 に基づき、木下委員長より説明が行われた。この調査研究は医歯薬の 3 領域で同時にプロジェクトが進行している。特に医学は組織が大きく、広範囲の内容で e-learning コンテンツを作る計画がある。また、木下委員長は医学チームの会議にオブザーバーとして参加しており、第 2 回に参加した会議内容の要点も踏まえ説明があった。略語では、SO は社会における医療の役割の理解で、IT は情報・科学技術を活かす能力である。医学部チームの現状では、情報化チームは誰に依頼するか検討中である。作成した e-learning コンテンツをどのように管理するか。UMIN に置くか、医学教育学会の Moodle に置くか、或いは、オープンソースウェアとするか等を議論している。医学のコンテンツは動画を中心に作る方向である。リリースするにあたっての利用規約はしっかり整備するべきである（利用目的は、(教育・非商用)、動画加工の禁止)。また、動画プラットフォームや次年度費用（維持費）について議論がされている等の医学の状況であった。

以上を踏まえ、薬学においては、情報・科学技術コンテンツ作成が中心の方向であるが、作成した e-learning コンテンツをどのように管理するかを検討すべきである。また、リリースする場合を踏まえ、利用目的（教育、非商用等）、動画加工禁止等々の利用規約を整備すべきである。この事業が単年度で終了のため、次年度以降の管理運営費の検討も必要である等の報告が併せて行われた。

②薬学教育学会の情報提供について

木下委員長は、薬学教育学会 ICT 教育学会の委員長も兼ねており、8 月に薬学教育学会大会が予定されていることから、報告がなされた。今回「情報・科学技術を活かす能力」の修得に

向けてというタイトルでシンポジウムを開催予定である。昨年より情報・科学技術を活かす能力は、医歯薬の共通化が謳われており、過去 3 回のシンポジウムでは薬学においても IT、ICT 関連について行われてきたこと、コアカリでは 2 と 6 が新たに設定されたところだが、中等教育においても 2022 年以降の学習指導要領の内容に変化があるとの紹介があった。

③改訂版コアカリで情報・科学技術を活かす能力に関連深い中・小項目について

木下委員長より私見ではあるが、情報・科学技術を活かす能力に関連深い学修目標として、B-5 情報・科学技術の活用 (B-5-1,B-5-2,B-5-3)、D-3 医療における意思決定に必要な医薬品情報 (D-3-2,D-3-3,D-3-4,D-3-5)、D-6 個別最適化の基本となる調剤 (D-6-1)、E-1 健康の維持・増進をはかる公衆衛生 (E-1-1)、F-4 地域医療・公衆衛生への貢献 (F-4-1)、F-5 臨床で求められる基本的な能力 (F-5-1) について紹介があった。

なお、A 薬剤師として求められる基本的な資質・能力を身に付けるための大学の学びの前文の 6) 情報・科学技術を活かす能力では、日々進歩する高度先端技術に関心を持ち、情報・科学技術に関する倫理、法律、制度、規範等を遵守し、情報・科学技術とその専門知識を医療に活用することを常に考える姿勢を、全ての大学で意識しながら学ぶ必要がある。と謳われていることも踏まえ、検討を進めていく必要があるのではとのことであった。

情報・科学技術を活かす能力に関連する項目は、非常に多岐にわたっていることを紹介したが、ICT の利活用に関して、薬学のフィールドではどうかという調査の経過は、全く行われていないが、現在、学会では予備的調査を準備しているところある。結果については、この WG でも共有させていただく予定でいるとのことであった。

6. 次回以降の会議について

WG の開催について、医学、歯学の WG 開催日時と同様に毎月 1 回の開催予定としたい旨、提案があり、了承された。

なお、本日の開催が水曜日でもあり、水曜日の午前中を基本開催日とするが、今後 1 年間の具体的な日時を提示の上、日程調整することが併せて了承された。

本日以降に 1 年分の WG 開催に向けた日程調整表にご対応いただくことの依頼がなされた。

7. その他

①各構成員より意見が述べられた。

②今後のお願いと予定等の確認

- ・意見共有のため、スプレッドシートにご意見をお寄せください。
- ・本日、パワポの追加資料は途中経過ですが、お送りします。
- ・医歯薬共通化の対応等でその経緯のメモ書きをお送りします。
- ・会議日程は一月 1 回の予定で進める方向です。
- ・1 月末の期限で進めるロードマップを作成する予定。

別記 1 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第 1 回 (6 月 21 日開催)

構成員氏名	所 属	出欠席	備 考 欄
木下 淳	兵庫医科大学薬学部臨床薬学分野	Web	
今井 志乃ぶ	昭和大学薬学部門薬剤疫学部門	Web	
近藤 悠希	熊本大学大学院薬学教育部臨床薬理学分野	Web	
酒井 隆全	名城大学薬学部医薬品情報学研究室	Web	
出口 芳春	帝京大学薬学部薬物動態学研究室	Web	
原口 亨	公益社団法人日本薬剤師会	欠席	
細谷 治	日本赤十字社医療センター薬剤部	現地	
松野 純男	近畿大学薬学部医療薬学科	Web	
本間 浩	一般社団法人薬学教育協議会	現地	
オブザーバー	文部科学省高等教育局医学教育課		

別記 2 e-learning コンテンツ作成ワーキンググループ第1回（6月21日開催）

<配付資料及び参考資料>

資料1 e-learning コンテンツ作成WG 委員名簿

資料2 文部科学省委託事業「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究」

業務計画書（抜粋）

資料3 文部科学省資料「委託事業の背景・課題、他領域の検討体制について」

資料4 「医学教育モデル・コア・カリキュラム改訂を踏まえた調査研究」第2回全体会議

議事次第

追加資料 オープニングリマークス&日本薬学教育学会 ICT 教育委員会設置の経緯と活動報告